

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【公表番号】特表 2004-510160 (P2004-510160A)

【公表日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)

【年通号数】公開・登録公報 2004-013

【出願番号】特願 2002-530643 (P2002-530643)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 33/543

C 0 7 K 5/02

C 0 7 K 7/02

C 0 7 K 14/16

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 15/09

C 1 2 Q 1/68

// C 0 7 F 15/00

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 2 5 G

G 0 1 N 33/543 5 2 5 E

C 0 7 K 5/02 Z N A

C 0 7 K 7/02

C 0 7 K 14/16

C 0 7 K 19/00

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 F 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 4 月 7 日 (2003.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複合体の作製のための、一般式 (I) :

$Z_n - Y - X_m$ (I)

〔式中、Z は少なくとも 1 つの反応性官能基または結合性基であり、X は、リンカー Y を介して Z に共有結合している反応性官能基であり (ここで、該リンカーは、1000 Da より大きな分子量を有し、かつ少なくとも 1 つの電荷担体を含む分枝リンカーである)、n は 1 ~ 10 の整数であり、m は 1 または 2 である〕

で表わされる化合物の使用。

【請求項 2】

複合体の作製のための、一般式 (I) :

$Z_n - Y - X_m$ (I)

〔式中、Z は少なくとも 1 つの反応性官能基または結合性基であり、X は、リンカー Y を介して Z に共有結合している反応性官能基であり (ここで、該リンカーは、1000 Da より大きな分子量を有し、かつ少なくとも 1 つの電荷担体および少なくとも 1 つの親水性

基を含有する分枝リンカーである)、 n は1～10の整数であり、 m は1または2である
〕

で表わされる化合物の使用。

【請求項3】

一般式 (I)



〔式中、 Z は少なくとも1つの反応性官能基または結合性基であり、 X は、リンカー Y を介して Z に共有結合している少なくとも1つの反応性官能基であり(ここで、該リンカーは、1000Daより大きな分子量を有し、かつ少なくとも1つの電荷担体を含有する分枝リンカーである)、 n は1～10の整数であり、 m は1または2である〕

で表わされる化合物。

【請求項4】

一般式 (I)



〔式中、 Z は少なくとも1つの反応性官能基または結合性基であり、 X は、リンカー Y を介して Z に共有結合している少なくとも1つの反応性官能基であり(ここで、該リンカーは、1000Daより大きな分子量を有し、かつ少なくとも1つの電荷担体および少なくとも1つの親水性基を含有する分枝リンカーである)、 n は1～10の整数であり、 m は1または2である〕

で表わされる化合物。

【請求項5】

少なくとも1つの生物学的物質と、請求項3または4記載の一般式 (I) の化合物の少なくとも1つとを含有してなる複合体。

【請求項6】

該生物学的物質が抗体もしくは抗体断片、核酸、ポリペプチド抗原、免疫学的に反応性のペプチドまたはハプテンである請求項5記載の複合体。

【請求項7】

免疫学的検出法または核酸ハイブリダイゼーション法における請求項3または4記載の化合物または請求項5または6記載の複合体の使用。